

私たちの窓は、いつもみなさまに開かれています

2021年
5月1日発行
No.491

May

5



今月の色: 新緑・若葉

特集 こどもと感染症 P-1

- ・インフォメーション P-4
- ・診療科・センター紹介 小児科 P-5
- ・診療を支えるスペシャリスト 小児看護専門看護師 P-6



病院理念 私たちは利用して下さる方ひとりひとりのために最善を尽くすことに誇りをもつ

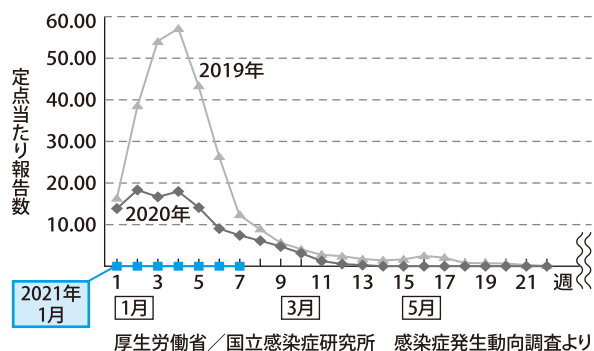


社会福祉法人 聖隷福祉事業団
総合病院 聖隷浜松病院

こどもと感染症

今 年の冬はインフルエンザの話題をほとんど聞きませんでした。公の機関が行っている調査を見てみると、実際にこの冬にインフルエンザにかかった人がほとんどいなかったことがわかります。

インフルエンザ罹患数



同 様に、こどもたちがいつもならよくかかっている病気もほとんど流行しませんでした。たとえば、あかちゃんがかかると重い呼吸の症状が出ることもあるRSウイルス感染症に関しても、昨年一年を通じ

て流行に至ることはありませんでした。これは、調査を開始してから初めての事です。手足口病やプール熱、ヘルパンギーナと言った、「夏かぜ」としてよく見られる病気も昨夏はかなり少なかったのです。これは、多くの人が感染症に興味を持ちその予防に注意を払った結果かもしれません。

こ どもたちが感染症にかかる機会が減ったことは喜ばしいことです。しかし、この状況には少しだけ気を付けておく必要もあります。

人間の免疫の働きは生まれたときから十分に備わっているものではありません。生後、かぜを引いたり予防接種を受けたりすることで徐々に培われていくものです。こどもたちはこのようにして免疫の働きをトレーニングして完成させていくのですが、十分なトレーニングを受けられないと感染症が再び流行したときにかかりやすかったり、症状が重くなってしまうことが危惧されます。



重

い症状や合併症が心配になるいくつかの病気には予防接種があり、その病気がひどくならないようにあらかじめトレーニングしておくことができます。しかし、予防接種で防ぐことのできる病気は限られています。

こどもが接種する主なワクチン

- ▶ B型肝炎
- ▶ ヒブ（インフルエンザ菌）
- ▶ 肺炎球菌
- ▶ 四種混合ワクチン
（百日咳、ジフテリア、破傷風、ポリオ）
- ▶ BCG（結核）
- ▶ 麻疹（はしか）・風疹
- ▶ みずぼうそう
- ▶ おたふくかぜ
- ▶ 日本脳炎
- ▶ HPV（ヒトパピローマウイルス）
- ▶ インフルエンザ



症状の軽いかぜを何度か引きながら免疫の働きを高めていくことも、こどもの成長には必要となる側面もあるように思います。

予防接種で防ぐことのできる病気はきちんと防ぎながら、こどもたちが感染症にかかった時には、早めにかかりつけ医を受診するなど、私たち大人も適切な対応が取れるように準備しておくことが大切です。

文責：小児科 部長 大呂 陽一郎

インフォメーション

4月から

口唇口蓋裂外来を開設

口唇口蓋裂の診療では、整容性（見た目）を綺麗にすると同時に、言葉をしっかりと話すことができるようにし、歯並びもそろえていくことを目標にしています。このためには、一つの科だけではなく、複数の科で協力して診療していく必要があります。形成外科では4月より新たに口唇口蓋裂外来を開設しました。



※詳しくはホームページをご覧ください ➡

詳しくは、2021年7月号で特集します

新型コロナウイルスについて

新型コロナウイルス（COVID-19）に関する、当院から最新の情報はホームページでご確認ください。院内感染防止のためにも、ご協力よろしくお願いいたします。



～外来待合での付き添い制限について～

- 待合室や診察室で付き添う人は、患者さん1人につき1人にしてください。
- 近くで待っている人と十分な距離を空けてお待ちください。
- 待合で長時間お話を続けるようなことはお控えください。

ご協力をお願いいたします。



2021年度 祝日稼動のご案内

9月23日（木）[秋分の日]、11月3日（水）[文化の日]、2022年1月10日（月）[成人の日]は、通常通り外来診療を行います。なお、一部の診療科において変更になる場合がございますのでご了承ください。

小児科



こどもの健康を さまざまな面からサポート

小児科は主に中学生までの子どもたちを対象とした診療科です。こどもには成長、発達という大きな特徴があります。それは、単純に身体の大きさやこころの発達だけにとどまらず、いろいろな身体機能を成熟させていく過程です。そのため、発熱や咳、痛みなどの症状の対応や、家族が抱く育児の悩みや不安、気になる身体の問題などの相談だけではなく、予防接種や健診を通じて、病気の予防や健康状態の維持にも配慮しています。さらに、慢性疾患を抱えた子どもたちが少しでもよりよい成長や発達を遂げられるように専門的な医療にも取り組んでいます。

小児科は、さまざまな側面から子どもたちの健康を支え、順調な成長や発達を遂げさせることを大きな目標にしています。心配なことがありましたら、お気軽にご相談ください。

文責：小児科 部長 大呂 陽一郎(写真前列左から2番目)



小児看護専門 看護師

こどもと家族に 寄り添う看護



小児看護専門看護師は、こどもたちが健やかに成長・発達していけるように療養生活を支援し、他の医療スタッフと連携して水準の高い看護を提供する役割を担います。看護系の大学院を経て日本看護協会で認定される資格です。

当院では3名の小児看護専門看護師が、小児病棟、小児科外来、入退院支援室に勤務しています。通院・入院生活や在宅移行前後のお子さんご家族に寄り添い、医師をはじめとする多職種と協働し支援しています。お子さんやご家族とのコミュニケーションを大切に、小児ケアのプロフェッショナル



ルの視点から、その子に合わせた成長・発達を援助します。どのようなことでもお気軽にご相談ください。

文責：看護部 高 真喜(写真真ん中)・鈴木 さと美(左)・村山 有利子(右)・岡村 奈緒美



聖隷浜松病院からのお知らせ

初診の方へ 紹介状をお持ちください

紹介状及び予約が必要な診療科(紹介予約制)がありますので、事前にご確認ください。なお、当院を受診される際に、他の医療機関からの紹介状をお持ちでない場合は、初診に係る**選定療養費**として**5,500円(税込)**を別途負担いただいています。原則としてかかりつけ医からご予約をお取りいただくようお願いいたします。患者さんから予約する場合は診療科・担当医をご確認のうえ、下記までご連絡ください。

▶ **地域医療連絡室(JUNC)** ☎053-474-8801

(月～金曜 9:00～17:00、土曜 9:00～12:00／祝日を除く)

再診の方へ 予約変更のご案内

予約変更は、適切な診療提供に支障をきたすおそれがあります。やむを得ず予約変更を希望する場合のみ、下記までご連絡ください。

- お手元に診察券・予約券等をご準備ください。
- 時間帯によってはお電話がつながりにくい場合があります。
- 変更の際は医師等に確認が必要なため、お時間や日数がかかります。

▶ **外来受付センター** ☎053-474-0100 (月～金曜 9:00～16:45)

産科の受診をお考えの方へ

妊娠検査薬等で妊娠が確認できれば、**紹介状は不要**です。受診希望日の7日～10日位前までに、下記までご連絡ください。

▶ **産科外来(直通)** ☎053-474-3067

(月～金曜 14:00～16:45／祝日を除く)

面会の方へ 現在、面会に制限があります。詳しくはホームページをご確認ください。

面会時間…月～金曜 14:00～20:00、土曜・日曜・祝日 10:00～20:00

- 院内感染予防の目的で、以下の症状がある方には、面会を遠慮いただいています。
発熱／咳・痰／原因不明の発疹／嘔吐・下痢

ご来院の方へ

駐車場の収容台数に限りがあり、大変混み合いますのでなるべく公共交通機関(電車・バス)をご利用ください。

医師との面談時間について(ご協力のお願い)

原則、平日(月～金曜)8:30～17:00です。

- 緊急の場合は、この限りではありません。
- 医師の都合(外来診療や手術の延長等)により面談が上記時間外になる場合もありますが、ご了承ください。
- やむを得ない事情がある場合は、ご相談ください。



ジョイント・コミッション・インターナショナル認証
日本医療機能評価機構認定
地域医療支援病院



日本医療機能評価機構



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

総合病院 聖隷浜松病院

〒430-8558 浜松市中区住吉2-12-12 ☎053-474-2222

発行責任者 院長 岡 俊明